

## 人生の金メダルのために

校長 森 恵子

例年と比べ早い梅雨あけのせい、夏休みにはいる前からの猛暑。いつまで続くかと思っていた暑い日々も、北京オリンピックの閉幕ともに一気に秋の気配になり季節も変わってきました。

さて、年々夏の暑さが厳しく感じられるのは気のせいでしょうか？今年の夏は、温度計の数値に表れる温度は確かに高く肌を感じる暑さは相当なものでしたが、それ以上に「心の温度」も急上昇の夏でした。その原因の一番は、8月8日に開幕した北京オリンピックです。開幕するまでは私自身あまり関心は高くはありませんでしたが、始まってみると夜中までTVの前から離れられず寝不足に成ることもしばしば。いくつもの感動を受けました。その中でもソフトボールには涙が出るほど感動を受けました。

「感動」と言葉に表してしまうと何故か軽い感じに成りますが、人に感動を与えることはそうそうあることではありません。選手たちがここまでくるには、長い間、色々な努力や苦労を続けてきています。例えば、ソフトボールのあの上野選手は、子どものころ全国大会で優勝したことがあるそうです。その時、「由岐子ちゃん（上野選手の名前）は才能があるから」と言われ、とても反発したそうです。「才能なんかじゃない。それだけの練習をしているから勝てるのに・・・」と。上野選手は、朝4時に起きて、走り、夜はゴムチューブを引っ張り、「自分のもっている24時間を、どれだけソフトボールの為に使っているかが結果に繋がる」と思い、本を読む時でさえ腹筋運動をしたそうです。（8月22日 朝日新聞記事から）世界一のピッチャーに成るための、世界一の練習を積んできた結果が金メダル獲得につながったのです。上野選手だけでなく、結果を出そうと一生懸命取り組む姿が、我々に感動を与えてくれるのでしょうか。是までの努力が報われず入賞できなかった選手、それどころか不幸にも本番の舞台にも立てなかった選手も居ました。我々が悔しいと思う以上に一番辛く悔しいのは本人です。しかし、結果だけで感動するのでは有りません。本番までの姿に感動するのです。精一杯の競技・演技の後のさわやかさやすがすがしさに感動や勇気をもらうのです。

北京オリンピックを見て、川和東小の子どもたちも心に残る感動を受けたと思います。子どもたちと共に感動したことを基に、自分のこれからの生活の仕方、友だち関係、学校生活などに活かせたらと思います。『人生の金メダル』は誰でも獲得出来ます。ただし、待っているだけではメダルは獲得出来ません。自分の努力やがんばりが大切。今できることから少しずつ、自分ができることから少しずつ、「自分のメダル」に向かって歩んでほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には川和東小学校の子どもたちが「自分の金メダル」を獲得するために応援をお願いします。

平成20年度前期後半は、1,080名のスタートです。今まで同様、本校の教育活動にお力添えを重ねてお願いいたします。